

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 洞爺湖町内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校数：小学校3校・児童数44名、中学校2校・生徒数30名

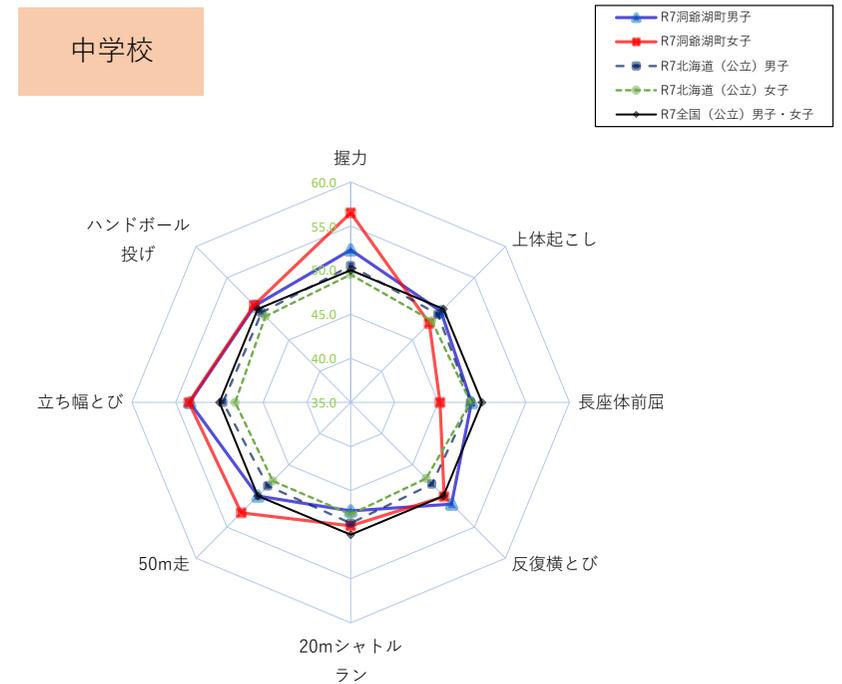
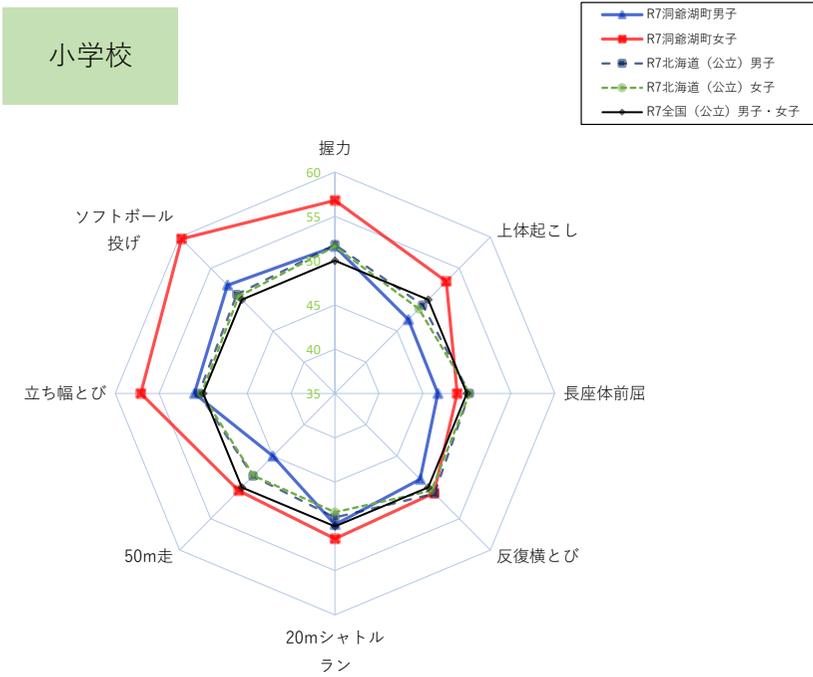
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の全国平均値を50とした場合(T得点)の全道及び洞爺湖町の状況

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7洞爺湖町男子	51.6	46.8	46.7	48.7	49.8	45.0	51.0	52.3	47.8
R7洞爺湖町女子	56.8	52.9	48.9	50.9	51.4	50.5	57.1	59.7	55.0
R7北海道(公立)男子	51.8	49.1	50.3	51.0	49.0	48.2	50.5	50.8	50.0
R7北海道(公立)女子	51.6	48.5	50.3	50.5	48.4	48.1	50.5	50.9	49.5

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7洞爺湖町男子	52.3	49.6	48.8	51.3	47.3	50.0	53.4	50.5	51.6
R7洞爺湖町女子	56.5	47.7	45.2	50.1	49.0	52.7	53.5	50.6	50.6
R7北海道(公立)男子	50.5	49.1	48.7	48.1	48.7	48.4	49.6	49.4	48.8
R7北海道(公立)女子	49.5	48.1	48.7	47.2	47.7	47.6	48.2	48.8	47.6

・全道及び洞爺湖町の状況をレーダーチャートで表示

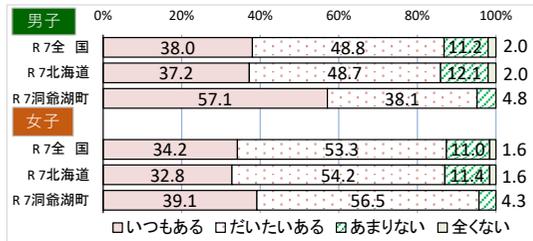


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

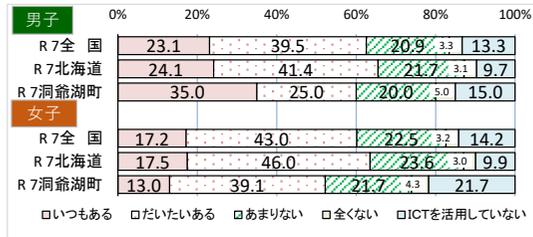
【児童質問調査】

・体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



【児童質問調査】

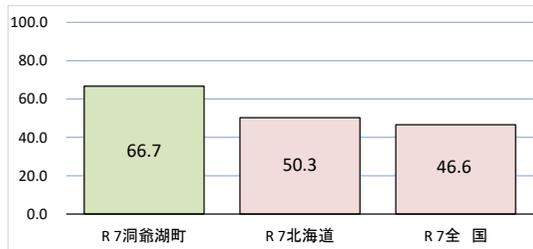
・体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



【学校質問調査】

小学校

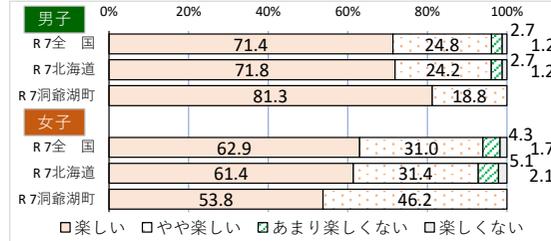
・体育の授業では、児童同士が助け合ったり、役割を果たしたりする活動をいつも取り入れている。



中学校

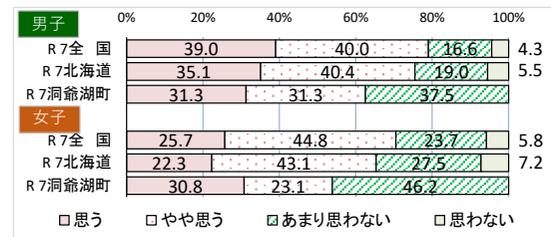
【生徒質問調査】

・どんなときに保健体育の授業が楽しいと感じますか。友達と交流したり、協力できたとき



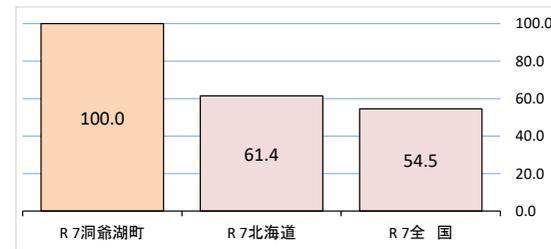
【生徒質問調査】

・保健の授業で学習した運動、食事、休養および睡眠に気がつけた生活を送れていると思いますか。



中学校

・保健体育の授業では、生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動をいつも取り入れている。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、体育授業で児童同士が助け合い、役割を果たす活動を取り入れる工夫を行ったことにより、体育の授業で友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答している児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・体育の授業でタブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答している児童の割合が、全国及び全道を下回ったことから、ICTの活用が技能や知識の定着に十分つながっていないと考えられる。

中学校

【成果】

・中学校においては、保健体育の授業で生徒同士が助け合い、役割を果たす活動をいつも取り入れる工夫を行ったことにより、友達と交流したり、協力できたときに保健体育の授業が楽しいと感じると肯定的に回答している生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・保健体育の授業で学習したことに気がつけた生活を送れていると肯定的に回答している生徒の割合が、全国及び全道を下回ったことから、体育で学習したことを実生活に生かせるようにすることを、保健体育の授業で大切にすることが必要である。

■ 洞爺湖町の体力向上に向けた改善方策

- ・全学年での新体力テストの実施及び結果を踏まえた体力向上や体育・保健体育授業の改善・充実
- ・体育・保健体育授業において、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた、1人1台端末活用の一層の充実
- ・運動の日常化に向け、休み時間等にスポーツをする時間を設定するなど、生活の中で運動を行う働きかけの推進